

藝大 × 昭和村プロジェクト 活動報告書

今年度はコロナ禍の影響を受け、現地で昭和村に住む方々と直接の交流をすることも、zoom 等による遠隔での交流もできませんでした。

そこで、我々藝大の学生は、友好の証として「昭和に関する布ポスター」を各自制作し、それを現地へ送るという形で、このプロジェクトを執行致しました。詳細は以下の通りです。

経緯

- ・2020年8月 昭和村プロジェクト始動。同年11月に現地へ行く計画。
- ・2020年11月 緊急事態宣言等の関係により延期。
- ・2020年12月 現地への渡航断念。遠隔でできることの相談のため、1度zoomでの会議の提案。
- ・2021年2月上旬 昭和村でコロナ感染者が出る。現地の方々が集まらないため、zoomも不可能に。
- ・2021年2月下旬 藝大の学生で昭和村に関する布ポスターを各自制作、郵送する計画に決定。

昭和村ポスター

現地でのふれあい・交流をすることができなかつたので、過去に現地へ行った先輩への聞き込み調査や、インターネットでの情報などを頼りに要素を探り、各々昭和村に関する布ポスターを制作しました。以下、作品とそのコンセプトです。



「渡御祭」という無病息災を祈願するお祭りをテーマに制作しました去年は開けなかつたというこの渡御祭を、どんな形であれ表現することで、昭和村の皆さんが健康で、なおかつ元気であることを願い、制作しました。私の絵が祭りの代わりになるとは微塵も思いませんが、少しでも昭和村の糧になれば嬉しいです。



昭和村の野尻集落で盛んだというゲートボールをモチーフに制作しました。今年には様々な困難があり、昭和村のHPでたくさんの行事が中止や延期になっているのを知りました。そんな中、昭和村のみなさんが家に飾って、見るだけで、楽しくゲートボールをしていた事が思い出されたり、またいつか皆でできるようになる日が来る事を想像できるようにと願いを込め、制作しました。



昭和村の「駒止湿原」の象徴的草花である「ニッコウキスゲ」と「ワタスゲ」。それぞれ花言葉に「心安らぐ人」「努力する」があります。

それらを踏まえて、「またいつの日か、のびのびとこれらの草花を見られる日を楽しみに、『心安らかに、静かに堪えて』、共に頑張りましょう」というメッセージを込めて制作しました。



昭和村で毎年行われる「歳の神」という無病息災を願う行事をモチーフに制作しました。

昭和村の皆さんが元気でいられるようにと願いを込め、その気持ちを、イラストを用いて表現しました。



『喰丸小』のそばに立つ2本のイチヨウの大木と、現在の喰丸小が残る契機となった映画『ハーメルン』のテーマ「カノン」から、折りのポスターをデザインしました。

『喰丸小』は、土地に根ざし、自然に寄り添う昭和村の暮らしと営みそのものと呼べる存在であると考え、喰丸小のイチヨウのふもとで、またみんなで穏やかな日々が過ごせることを願って制作しました。

※ポスター製作工程

昭和村について調査



各自ポスターをデザイン



布に印刷



裁断



仕上げ

活動報告まとめ

上記のようにポスターを制作・郵送するという結果になりました。

本来現地で昭和村の方々と触れ合い、そこで生まれた絆や、知った事物を踏まえて活動するはずでしたが、それはかないませんでした。

しかし、会えなくても、昨年、一昨年と、毎年触れ合ってきた歴史と、絆が、藝大と昭和村の間にはあります。それを示す活動として、今年は布ポスターを送るという選択肢をとりました。

またいつの日か、現地で藝大生と昭和村の方々が交流することができる日を願っております。

以上が活動報告となります。